

## 【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.29】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声伝えていきます。



こちらの方は2人家族のモニターです。

ごみの排出状況について、プラスチック製容器包装はできるだけきれいに洗うことを心掛け、可燃ごみ(生ごみ)には目隠しの新聞を巻き、カラスに荒らされる事を防いでいるそうです。

また、年末年始の使用状況については、正月料理の支度により生ごみが多くなったが、処理機の最大処理量が1回あたり700グラム(約2リットル)と小さいことに加え、冬期間は電気消費量が増えることから、あまり活用できなかったそうです。

普段の生活の中では、ごみの減量化のため、余分には買わないことを頭に入れ努力しているそうですが、製造側の意識改革(過剰包装の廃止など)の必要性も、感じているそうです。

### 【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声をもとに生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

### 【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp